

睦公民館主催講座

# 八千代の中の日本の文化

— 移り行く八千代の人々の生活と文化 —

2022年5月14日・6月11日開催

八千代の歴史を“くらしの文化”という視点で解説していただきました。第1回目は明治・大正・昭和、第2回目は江戸時代とそれ以前の人々の暮らしぶりとその生活文化について学びました。



## ワンポイント講座

### とりゅう 「屠龍発掘」

昭和20年1月27日、東京の飛行機製作所を爆撃したB29編隊に対し、「屠龍」は後方より覚悟の体当たり攻撃を敢行しました。この攻撃でB29は墜落、屠龍も民家に墜落かと思われたその時、最後の力を振り絞るように急旋回でこれを回避、睦村神久保の水田に激突し、搭乗していた小林軍曹と鯉淵兵長は帰らぬ人となりました。軍によって鯉淵兵長の遺体は収容されましたが、小林軍曹と屠龍は地中深く残されたまま終戦を迎えることとなりました。その後も少年飛行兵10期の機友は地道な調査を続け、昭和55年に神久保の現場を確認し、屠龍発掘を陳情しますが、その願いは平成8年ようやく実現することになったのです。51年もの間、地中深く眠っていた小林軍曹の遺骨は、日の丸がはっきりとわかる屠龍とともに収容され、少年飛行兵10期の機友たちの戦争はようやく終わりを迎えたのです。

またのご参加をお待ちしております！